

仕事のおわり

大村伸一

バスを降りる 今日青い壁の工場 曲がりくねる廊下の床も青い 黄色いペンキで文字
ぬ13 指定された場所 19ぬよ33 指定された作業台 作業開始

爪よりも小さな歯車 歯の間の油をこそぎ落とす 床に置いた工具箱 針の先端の油を落
とす工具 いつの間入っていたのか分からない 工具は必要になるとそこにある いつも
分からない 油で湿った歯車を拭う 画面に手順が映る 手順は厳密で曖昧さはない 手
順が示される画面 正しく実行すれば評価される 歯車を三十二個磨いた 終了のサイレ
ン

食事係の少年がビニール袋を届けてくれる 袋の中からパンとジュースを取り出す ゆっ
くりと噛む 開始のサイレン

どこまでも並ぶ作業台では 他にも大勢が働いている 工場の光は乏しい 少し離れば
誰がいるのか分からなくなる どんな仕事をしているのか分からない 同じ仕事などして
いないはずだ 41個の歯車を磨く 終了のサイレン

工具箱を持つ 建物を出る バスに乗る

工具箱を持つ バスを降りる 宿泊施設 茶色の建物 どう読むのか分からない緑色の文
字 冷たいベッド 机の上のビニールの袋 中から硬いパンとどろりとした飲み物 食べ
る 眠り

めざめ 工具箱持つ バス ピンクの工場 くぬ223 作業台の犬に言葉を教える 画
面の手順 画面の手順 犬がアルファベットを叫ぶ 工具箱の黒い錐で尻尾を刺す サイ
レン 食事 犬の食事は専任の作業員 サイレン 午後は猫に言葉を教える 画面の手順
画面の手順 画面の点滅 終了のサイレン

工具箱を持つ 工場を出る バスに乗る

工具箱持つ バスを降りる 宿泊施設 オレンジ色の建物 どう読むのかは分からない黒
い文字 冷たいベッド 机の上のビニール袋 乾いたパンと黴くさいミルク 食べる 眠
り

めざめ 工具箱 バス 黄色の工場 赤い文字 湿った作業台 ビニール袋に小さな穴を
開ける 工具箱から黒い虫のケース箱 百二枚 サイレン 食事 サイレン 二百五枚
サイレン

工具箱 工場を出る バスに乗る

工具箱とバスを降りる 白い宿泊施設 文字 冷たいベッド 机の食事 硬いゴムのよう
な味のかたまり 眠る

めざめ 工具箱 バス 紫の工場 ちは336む7 作業台に並べられたレンズ 画面の手
順 画面の手順 レンズの端から中心まで小さな文字を刻む 工具箱からガラス筆を出す
34枚 サイレン 食べる サイレン 画面 37枚 画面 サイレン

工具箱 工場を出る バスに乗る

バスの中 少年が食料を配布 溶けた何かを袋から吸う 眠る バスは夜の間中走り続け
ていた 三度目がさめた バスは海に沿って走り続けていた サイレン 走り続けるバス
床下のシャフトにペンキを塗る 海は黄色に光る 波に赤い文字 バスは海の底で眠る
食料の配布はなかった